

自己練習／自主学習 を取り入れた職場外研修のポイント

一般社団法人 林業技能教育研究所

職場外研修に自己練習(自主学習)を**プラス**すると

職場外研修は...

✕ 練習を行う場

ではなく

○ 自己練習方法を学ぶ場

○ 自己練習で明らかになった課題解決の場

として開催されます。

職場外研修に自己練習(自主学習)をプラスすると

研修

自己練習
(日々の業務)

研修

自己練習
(日々の業務)

研修

▷ 練習の機会が増えます

→知識も技能も自分自身で練習してみて初めて身につきます。

▷ 分かった“つもり”を防ぎます

→研修では分かったつもりでも、いざ自分でやろうとするとできない...
など、分からなかったことは次の研修で知ることができます。

▷ 自己練習をサボれません

→自己練習の成果を披露する機会(次回研修)があるので、自己練習をサボれません

自己練習(自主学習)をプラスした研修のポイント

実技研修

- ▷ **自分が抱える課題や自己練習の成果は、数値により確認します**
→客観的指標で確認することで、指導者がいない自己練習の時でも研修生自身で練習の課題や成果を評価できます。
- ▷ **自己練習を前提としたプログラムを提供します**
→研修では自己練習に必要な機材や環境の準備方法や、操作精度を上げるための課題の見つけ方なども指導します。
これらの知識は、OJTでも活用することができます。
つまり、指導者の育成につながります。

自己練習(自主学習)をプラスした研修のポイント

座学研修

▷ テストがあります

→テストをすることで、研修の理解度を確認できます。

その内容をもとに、研修生は自主学習を行い、指導者は次回プログラムを検討します。

▷ 宿題が出ます

→機械整備や安全管理など、研修で学んだことは作業で活用してみてその結果を次の研修で発表してもらいます。

そうすることで、得た知識が確実に定着します。